

令和3年度 一般財団法人たかのす福祉公社 事業報告書

一般財団法人たかのす福祉公社

本事業報告は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの期間を対象にしている。また、当期においては、令和2年度事業報告及び決算処理（公認会計士による会計監査、監事による会計及び業務監査含む）、公益目的支出計画実施報告等の重要手続きについては、滞りなく事務処理を進めることができた。

I 法人の概況

1 設立年月日：平成10年12月24日設立

（平成24年10月1日付、一般財団法人たかのす福祉公社として移行登記）

2 定款に定める目的及び事業

当法人は、ノーマライゼーションの理念に基づく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とし、北秋田市や各関係機関との連携を図り、自立した日常生活及び療養生活を営む上で支援を必要とする者の生活の質の向上と、地域における認知症ケア体制及び地域医療体制の充実を図るため、これに関する相談助言・情報提供事業、地域交流、調査研究事業及び介護技術等研修事業を行うとともに、次に定める各事業を実施する。

- (1) 介護従事者の育成に関する研修及び地域介護講座等の介護技術等研修事業
- (2) 医療、福祉、介護等に関する相談助言・情報提供事業及び地域交流事業
- (3) 食の自立支援事業（配食サービス事業）、要介護認定調査事業及び介護予防ケアマネジメント業務等の受託
- (4) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- (5) 介護保険法及び健康保険法等に基づく介護・看護サービス事業
- (6) 介護用品貸与及び販売、弁当等の外販、保険外ヘルパーサービス等の有償福祉サービス事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 所管官庁に関する事項 秋田県 健康福祉部 長寿社会課

4 はあとサポーター会員登録者数 ※<>内は前年会員数

会員区分	会員数	
普通会员	99名	<101名>
特別会員	1団体	<2団体>

5 主たる事務所の状況

秋田県北秋田市大町8番23号

6 役員等に関する事項（理事3名、監事1名、評議員6名）

令和4年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤	担当職務・現職等
理事長	松橋雅子	非常勤	設計室主宰 建築士 会計責任者
常務理事	近藤テイ子	常勤	フードセンターたかのす 施設長 法令遵守責任者（障害福祉）
理事	成田康子	非常勤	看護師 大学非常勤講師 福祉、医療に関する知識を有する者
監事	桜庭秀孝	非常勤	農業 元鷹巣町農業協同組合常務理事
評議員	佐々木孝夫	非常勤	元社会福祉法人役員 行政に関する知識を有する者
評議員	鈴木静子	非常勤	自営業 地域市民団体関係者
評議員	成田京子	非常勤	自営業 地域市民団体関係者
評議員	成田元晴	非常勤	農業、元病院事務局長 行政に関する知識を有する者
評議員	檜森正太	非常勤	会社役員 地域市民団体関係者
評議員	堀部健	非常勤	鍼灸師 保健医療に関する知識を有する者

7 職員に関する事項

令和4年 3月31日現在

職員	身分	人数	増減
男性	正職員	5名	-1名
	臨時職員等	2名	+2名
女性	正職員	10名	+1名
	臨時職員等	7名	-1名
合計		24名	+1名

8 許認可に関する事項

なし

II 事業の実施状況

<実施（継続）事業について>

① 介護従事者の育成に関する研修等及び地域介護講座等の介護技術等研修事業

地域介護講座は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として今年度は11月に書面での研修に変更して講座を実施した。

なお、例年実施していた介護セミナーおよび4月からの秋田看護福祉大の看護実習を受け入れは法人内での検討の結果新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しないこととした。

(1) 地域介護講座について

テーマ 配食サービスについて

書面配布先 : サービス利用者、はあとサポーター、町内会

② 医療、福祉、介護等に関する相談助言・情報提供事業及び地域交流事業

「はあとだより」は令和3年8月と令和4年3月の計2回発行をした。内容としては、はあとガーデンの植栽の様子、サポーター会員の状況、寄付、寄贈の情報、就労継続支援B型事業について、新型コロナウイルスの感染予防対策について、役員、組織の紹介、公社各事業について等、地域の皆様やはあとサポーターの皆様に広く情報提供を行った。

また、北秋田市のホームページのバナー広告を継続利用し、当法人のホームページにアクセスしやすい通信環境を提供した。

地域交流事業は、はあとサポーターや地域の住民や近隣保育園の園児に参加していただき、6月に「はあとガーデン」を実施し、街の一角の緑化の推進、世代間交流の場を提供した。

<障害福祉サービス事業について>

① 食の自立支援事業<配食サービス事業>の受託 (フードセンターたかのす)

(1) 総合評価

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等との連携を図り、また、利用者一人ひとりの多様なニーズに対応することにより、配食サービスを提供することができた。今後も、関係機関との更なる連携強化により、利用者のニーズに応え、確保に努めていく。また、学校給食センターとの話し合い、情報共有を図り、衛生管理の徹底に努めた。

(2) 事業の実績

- ・月別平均利用者数：28.8名 前年30.3名 <-1.5名>
- ・年間合計食数：13,129食 前年16,466食 <-3,337食>
- ・1日平均食数：36食 前年45.3食 <-9.3食>

② 就労継続支援B型事業の実施 (フードセンターたかのす)

(1) 総合評価

北秋田市との指定管理者基本協定に基づき、適正な施設管理に努めた。

今年度は、新たに1名の通所開始となったが2名の退所となり、年度末の登録利用者は18名となった。今後も引き続き、利用者の能力に応じた作業の提供や通所利用者の安定的な人員確保に努めていく。

北秋田市や北秋田市自立支援協議会、北秋田市障害者生活支援センター等の関係機関との連携、情報共有を図り、今後も就労支援等に努めていく。また、配食サービスに係る作業のほか、弁当販売、ラーメン・まんまの受注販売等において、利用者の地域での活動機会を確保できた。

(2) 事業の実績

令和4年3月31日現在 通所利用者登録数：18名 (定員は20名)

(3) 外部研修等

- 令和3年4月：第1回秋田県社会就労センター協議会理事会・共同受注拠点担当者会議
1名
- 4月：秋田県社会就労センター協議会総会・施設長等セミナー (オンライン)
1名

- 6月：第2回秋田県社会就労センター協議会理事会・共同受注拠点担当者会議
1名
- 7月：第1回秋田県地域福祉推進会議 1名
- 7月：第3回秋田県社会就労センター協議会理事会 1名
- 9月：第2回秋田県地域福祉推進委員会 1名
- 9月：工賃向上セミナー（オンライン） 3名
- 9月：秋田県農福連携推進会議
- 10月：障害者理解促進事業者向け研修会（オンライン） 1名
- 10月：福祉事業所の商品・サービス紹介イベント（商談会） 3名
- 10月：全国社会就労センター総合研究北海道大会（オンデマンド） 4名
- 11月：北秋田市障害者総合支援協議会 1名
- 11月：第3回秋田県地域福祉推進委員会 1名
- 11月：秋田県農福連携セミナー（県北地区） 3名
- 12月：秋田県社会就労センター協議会事業所見学会 1名
- 12月：障害者就労支援事業所への受発注拡大に係る県北秋田ネットワーク会議
1名
- 12月：第9回全国生産活動・就労支援部会職員研修中国・四国大会（オンデマンド）
4名
- 12月：障害者虐待防止権利擁護研修（オンデマンド） 4名
- 令和4年 1月：第2回秋田県農福連絡会議 1名
- 1月：第58回全国知的障害福祉関係職員研究京都大会（オンライン） 4名
- 1月：第4回地域福祉推進委員会 1名
- 2月：第38回全国社会就労センター長研修会（オンデマンド） 1名
- 2月：障害福祉関係合同研修会 2名
- 3月：発達障害地域支援者研修（オンデマンド） 4名
- 3月：第4回秋田県社会就労センター協議会理事会 1名
- 3月：農福連携推進東北ブロックセミナー（オンライン） 1名

<介護・看護サービス事業について>

①訪問看護事業の実施（訪問看護ステーションはあと）

（1）総合評価

主治医との連携強化が図れ、17名の終末期ケアを実施し、自宅にて12名の看取りを行うことができた。

時間外での往診は職員間の連携により対応することができた。

コロナウイルス感染予防対策の強化により職員の健康被害はなく、他県からの面会等にも対応することができた。

合川サテライトステーションについては検討の結果、今年度で閉鎖することとした。

（2）事業の実績

介護保険

- ・利用者延べ数：528名 前年449名（介護予防含む） <+79名>
- ・月別平均利用者数：44名 前年37.4名 <+6.6名>
- ・年間訪問延べ回数：3,283回 前年2,645回 <+638回>
- ・月別平均訪問延べ回数：273.5回 前年220.4回 <+53.1回>

健康保険等

- ・利用者延べ数：73名 前年112名 <-39名>
- ・月別平均利用者数：6名 前年9.3名 <-3.3名>
- ・年間訪問延べ回数：736回 前年1,098回 <-362回>
- ・月別平均訪問延べ回数：61.3回 前年91.5回 <-30.2回>

(3) 外部研修

- 令和3年 5月：北秋田市自立支援型地域ケア会議 1名
- 11月：北秋田市自立支援型地域ケア会議 1名
- 11月：北秋田市地域医療連携センター訪問看護部会 1名
- 12月：看護実践力向上と看護職間のネットワーク構築のための研修会 2名

②居宅介護支援事業の実施（居宅介護支援事業所はあと）

(1) 総合評価

職員の応募はなく、また、組織内での介護支援専門員の資格を取得する職員もおらず、通年2名体制での業務となった。よって特定事業所加算については要件を満たすことができず、算定はできなかった。

職場内での通信環境の整備により、オンラインでの研修への参加が可能となり、外部研修はオンラインにて参加した。今後も研修会により知識や技術の向上に努めていきたい。

事業所の体制強化を図るためには、組織内の介護支援専門員の有資格者を増やすことが必要と考えており、今後も継続としての課題としたい。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数（介護給付）794名 前年943名 <-149名>
（介護予防）165名 前年183名 <-18名 ケアマネジメント含>
（認定調査）81名 前年81名
- ・月別平均利用者数（介護給付）66.1名 前年78.6名 <-12.5名>
（介護予防）13.7名 前年15.2名 <-1.5名 ケアマネジメント含>
（認定調査）6.7名 前年6.7名

(3) 外部研修

- 令和4年 2月：介護支援専門員研修会（北部包括主催） 2名
- 3月：北秋田市介護支援専門員研修 1名

③福祉用具貸与及び販売事業の実施（福祉用具レンタルセンターはあと）

(1) 総合評価

貸与事業の年間の実績として新規利用契約者34名、利用終了者27名となる。

毎月の利用者は60名から66名で推移し、目標となる年間の予算、収益は達成することができた。

販売事業については前年度と同じ数の販売数となり、年間予算は達成することができた。

(2) 事業の実績

① 福祉用具貸与利用者

- ・利用者延べ数：750名 前年729名（介護予防含む） <+21名>
- ・月別平均利用者数：62.5名 前年60.8名 <+1.7名>

② 福祉用具販売点数

- ・販売延べ点数：584点 （前年584点）
（うち特定福祉用具21点 （前年15点 <+6点>）

(3) 外部研修

なし

④訪問介護事業の実施（ヘルパーステーションはあと）

(1) 総合評価

その人らしさを大事にした日常生活が送れるよう、個人の生活スタイルを変えない形で利用者本位のケアを提供することができた。

また、体調、病状の変化等があった際には関係機関と連携をはかり、在宅生活を継続できるような支援をした。

実績面では目標とする予算に届かなかったため、今後新規利用者の獲得にむけた取り組みをしっかりと実施していく。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数：305名 前年281名（介護予防含む） <+24名>
- ・月別平均利用者数：25名 前年25名
- ・年間訪問延べ回数：3,301回 前年4,964回 <-1,663回>
- ・月別平均訪問延べ回数：275回 前年413.6回 <-138.6回>

(3) 外部研修

なし

<有償福祉サービスについて>

①介護用品貸与生活支援事業の実施（実施事業所：福祉用具レンタルセンターはあと）

(1) 総合評価

独自の介護保険外サービスとして、必要な福祉用具をレンタルし、軽度者や要介護認定を受けていない方の在宅生活を支援することができた。新規契約者は6名、終了者は7名であった。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数：98名 前年98名
- ・月別平均利用者数：8.2名 前年8.2名

②ふとん消毒乾燥サービスの実施 (実施事業所：福祉用具レンタルセンターはあと)

(1) 総合評価

地域の住民が衛生的で快適な寝具を使用して生活ができるよう、布団、毛布、マットレス等を消毒乾燥するサービスを実施した。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ件数：16件 前年11件 <+5件>
- ・月別平均件数：1.3件 前年0.9件 <+0.4件>

③弁当等外販の実施 (実施事業所：フードセンターたかのす)

(1) 総合評価

「おとどけ・まんま」、「おたすけ・まんま」の販売に加えて、週2回の「にこにこ弁当」の当日販売や事前予約の「日替り弁当」の販売等については、目標とする販売実績を概ね達成した。その他、クリスマスチキン等受注販売等に積極的に取り組んだ。

(2) 事業の実績

おとどけまんま

- ・延べ提供数：3,430食 前年1,779食 <+1,651食>
- ・月別平均食数：285.8食 前年148.2食 <+137.6食>

日替り弁当

- ・延べ提供数：1,810食 前年901食 <+909食>
- ・月別平均食数：150.8食 前年75.1食 <+75.7食>

にこにこ弁当

- ・延べ提供数：2,510食 前年2,462食 <+48食>
- ・月別平均食数：209.1食 前年205.9食 <+3.2食>

④保険外ヘルパーの実施 (実施事業所：ヘルパーステーションはあと)

(1) 総合評価

介護保険外サービスの需要の高まりがあり、利用実績が増えた。今後は職員体制が薄いことも考え介護保険サービスとのバランスをみながら対応していく必要がある。

(2) 事業の実績

- ・利用者延べ数：55名 前年20名 <+35名>
- ・月別平均利用者数：4.5名 前年1.6名 <+2.9名>
- ・年間訪問延べ回数：219回 前年35回 <+184回>
- ・月別平均訪問延べ回数：18.2回 前年2.9回 <+15.3回>

III 重要な契約に関する事項

当期に契約した重要な契約に関して記載すべき事項はない。

IV 理事会及び評議員会等に関する事項

当期に開催した理事会及び評議員会の開催日及び議案内容は以下のとおりとする。

理事会

開催日	議案内容
令和3年 6月10日	<ul style="list-style-type: none">・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について・令和2年度事業報告、決算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認について・理事候補者の選任（案）について・定時評議員会の開催について
令和3年 6月29日	<ul style="list-style-type: none">・理事長及び常務理事の選任について
令和3年 9月30日	<ul style="list-style-type: none">・定年後再雇用規程の一部改正について・令和3年度第1次補正予算（案）について
令和3年12月 9日	<ul style="list-style-type: none">・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について・定年後再雇用規程の一部改正について・令和3年度第2次補正予算（案）について・第1回臨時評議員会の開催（案）について
令和4年 3月 9日	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度第3次補正予算（案）について・令和4年度事業計画及び予算（案）について・職員給与規程の一部改正（案）について・就業規則の一部改正（案）について・会計処理規程の一部改正（案）について・第2回臨時評議員会の開催（案）について

評議員会

開催日	議案内容
令和3年 6月29日	<ul style="list-style-type: none">・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について・令和2年度事業報告及び公益目的支出計画実施報告について・令和2年度決算書類の承認について・理事の選任について
令和3年12月24日	<ul style="list-style-type: none">・理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について・令和3年度上半期会計監査についての報告について・定年後再雇用規程の一部改正について・令和3年度第2次補正予算（案）の承認について
令和4年 3月24日	<ul style="list-style-type: none">・職員給与規程の一部改正（案）について・就業規則の一部改正（案）について・会計処理規程の一部改正（案）について・令和3年度第3次補正予算（案）の承認について・令和4年度事業計画及び予算（案）の承認について

会計及び業務監査

開催日	内容
令和 3年 6月 1日	令和2年度会計及び業務監査並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査

V 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状態の推移

平成24年10月1日より公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

単位:千円

事業年度	平成30年 3月期	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期
前期繰越収支差額	7,288	4,836	11,288	15,638	19,212
当期収入合計	155,300	153,438	153,040	148,535	139,789
当期支出合計	157,752	146,987	148,690	144,961	133,598
当期収支差額	△2,452	6,451	4,350	3,574	6,191
次期繰越収支差額	4,836	11,288	15,638	19,212	25,404
資産合計	143,172	144,435	152,151	151,275	154,735
負債合計	87,473	85,390	96,446	90,775	86,032
正味財産	55,700	59,045	55,705	60,500	68,703

VI 法人の課題等

公益目的支出計画に基づく法人運営は今年度もコロナ禍の状況を考慮しながら、はあとガーデン、地域介護講座の実施、はあとだよりの発行、ホームページ等による情報発信など、概ね公益目的支出計画どおりの法人運営ができており、今後も継続実施していく。

専門職の確保等新規職員の応募、採用が計画どおりすすんでいない状況であり、今後も職場環境、待遇、印象等、今まで以上に求職者にとって魅力があり、興味がわく事業所に進化していく必要がある。

最後に来期以降も収益、費用のバランスのとれた各事業所運営に努め、地域で求められる法人になっていく必要がある。